

第5学年1組 外国語科学習指導案

【日時】令和7年7月23日(水) 9:20~10:05 【場所】5年3組教室 【指導者】松下 大介

本授業の参観の視点

全校のためにクラスで給食メニューを考えるという課題に対して“*What would you like ~?*”や既習表現、非言語を活用し、分かりやすく伝えることを意識しつつ自分たちの思いを込めてメニューを考え、実際に伝えます。本授業では、試行錯誤しながら自分たちが考えたことを表現しようと取り組む児童の姿をご覧ください。

1 単元名 *What would you like? ~Let's make "5-1 lunch menu"!~*

(*NEW HORIZON Elementary 5 Unit 6* 参照)

2 単元の構想

(1) 単元について

本単元は、*NEW HORIZON Elementary 5 Unit 6*を基に構成した。児童が明確な目的意識・相手意識をもって取り組むことができるように構成し、全校のために給食メニューを考えて分かりやすく提案することをパフォーマンス課題として設定する。児童は、単元を通して全校児童に喜んでもらえる給食メニューを考え、友達に分かりやすく伝えるために必要な表現に慣れ親しみ、選んでもらえるように適切な表現や方法を選んで紹介する活動に向かっていく。そのことを通して、様々な他者のことを踏まえて自分の考えや思いを分かりやすく伝える能力の育成を目指す。児童は、単元のゴールに向かって、給食を考える上で気を付けられていることや家庭科で学習する栄養に関する内容を考えながら取り組む。この単元で身に付け、高めた能力が、第6学年の外国との関わりに関する学習や中学校でのプレゼン活動の素地となる。

(2) 児童について

図1の本学級の児童を対象にしたコミュニケーション能力に関する質問紙調査(4件法、回答33名)から、談話能力(一貫性のある対話を構成する能力)と多様な文化等を尊重する態度について、他のコミュニケーション能力に比べてあまり意識せずに活動に取り組んでいるという結果が見られた。本単元では、本学級の児童があまり意識していないコミュニケーション能力(図1)の育成と、児童の意欲を大切にしつつできる限り正確な言語材料を用い、目的、場面、状況等を踏まえて、他者と自分の考えや気持ちを十分に伝え合うことができるようにしたい。

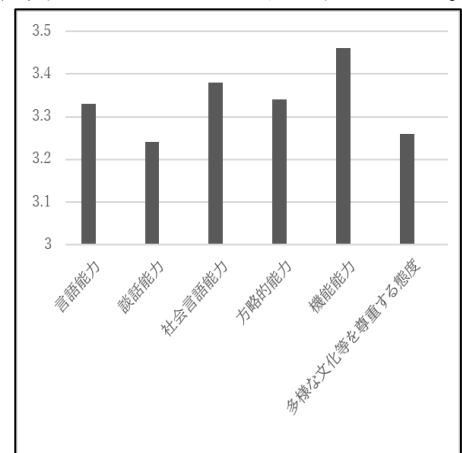


図1 コミュニケーション能力に関する児童の意識

(3) 指導について

指導に当たっては、全校のために喜んでもらえる給食メニューを考えて提案するという単元のゴールに向かって、目的意識・相手意識をもって取り組むことを目指す。そこで、全校に喜んでもらえるように、さらに、友達に自分が考えたメニューを選んでもらえるように分かりやすく伝えるという目的をもって、自分たちの思いや考え、伝えたい内容を整理したり、他者に応じて話したりすることができるように指導していく。それにより、本単元を通して文脈や場面に応じて丁寧に注文したり応対したりする際の表現を適切に使うという社会言語能力の育成を目指す。そして、児童の実態を踏まえ、相手の思いを汲み取りながらやり取りをすることで談話能力を育てたり、異学年の情報や友達の思いや考えを踏まえて自分の意見と比較したり、他者に寄り添って受け入れたりする多様な文化等を尊重する態度を育むことを目指す。

本単元では、他者と学び合い、認め合う児童を育成するために2つの手立てをとる。1つ目は、他者の話す内容や工夫をよく見聞きして、自分に取り入れられることはないかを考える場を設定する。その過程を通して、本単元でねらう、または、児童自身が意識するコミュニケーション能力の育成を目指す。

2つ目は、本単元を通して児童が振り返る際に視点を提示する。児童がその中から選択し振り返ったり、友達と交流したりできるようコミュニケーション能力について継続した意識付けを行う。また、必要に応じて中間指導や振り返る場、相互に交流する場を設定することで、児童の振り返りの質の向上を図る。

(4) 期待する「回遊する学び」について

本単元及び本時における児童の姿を小学校全体テーマの「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力に関連付け、下記のように整理する。

ステージC 「他教科等」

相手が一番伝えたいポイントは何だろう？友達の考えたメニューのいいところを見つけながら聞こう。



相手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、相手の考える給食メニューの内容を捉えて感想を伝えている。(国語科「聞くこと」【思考力、判断力、表現力等】)

→ 児童の考えに対して反応することで、メニューの内容に着目することができるようにする。

ステージC 「他教科等」

友達の考えたメニューは、どんな栄養で、予算内に収まっているかな？みんな喜んでくれるかな？



栄養を考えた食事についての課題を解決するために、基礎的・基本的な知識を活用して、健康などの視点から栄養バランスを考え、献立を工夫している。(家庭科「食生活」【思考力、判断力、表現力等】)

→ 実際に給食として提供してもらうことを目的の一つに設定することで、栄養や予算、見た目などに着目することができるようにする。

ステージB 「同教科」

好きなものと値段は聞けるけど、それだけでいいのかな？他の視点で質問してみようかな。もっと詳しく知るために何か方法はあるのかな？



他者に配慮しながら、伝える方法を考え、視点をもって外国語を用いてコミュニケーションを図っている。(外国語活動「話すこと [やり取り]」【思考力、判断力、表現力等】)

→ メニューや値段など本時の活動に必要な内容が不十分な場面を取り上げ、他者に配慮しながらもっと詳しく自分たちの考えを踏まえた内容を尋ねたり答えたりするやり取りを行う方法を共有する。

ステージA 「同単元・領域」

ちょうど330円！値段も栄養もばっちり！
値段も栄養もばっちり…って、どんな英語で表現できるかな？



外国語の基本的な表現に慣れ親しんでいる。(外国語科「話すこと [やり取り]」【知識及び技能】)

→ 毎時間の Small Talk を、数や食べ物に関するテーマで行う。

単元のゴール：
全校のみんなが喜ぶ
5の1給食メニューを
作ろう！

ステージD 「実生活・実社会」

栄養士の先生の話聞いて、栄養や値段を考えて、全校のみんなに喜んでもらいたい！自分では気付かなかったけれど、色々な友達の意見をしっかり聞いて、「5-1給食メニュー」を作ろう！



コミュニケーションを通して、自分のよさに気付いたり、友達のよさを認めたりしている。(【学びに向かう力、人間性等】)

→ Small Talk を通して、聞く方にも着目して指導や共有を行う。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

自分や班で作成した給食メニューを全校児童に喜んでもらえるように、紹介することを通して吟味し、他者に配慮し、相手の考えを受け入れながら言語活動に取り組むことができるようにする。

(2) 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	(知) 紹介する内容に応じた語彙や表現を理解することができる。 (技) 紹介する内容に応じた語彙や表現を基に内容を聞き取ることができる。	友達の給食メニューについての紹介を聞いて、大まかな内容を理解している。	友達の給食メニューについての紹介を聞いて、大まかな内容を理解しようとしている。
話すこと [発表]	(知) 給食メニューの紹介のための語彙や表現を理解することができる。 (技) 給食メニューの紹介のための語彙・表現を使って相手に伝えることができる。	自分たちが考えた給食メニューを紹介するための語彙・表現を使って、相手のことを考えながら伝えている。	自分たちが考えた給食メニューを紹介するための語彙・表現を使って、相手のことを考えながら伝えようとしている。
読むこと	(知) 給食のメニューについて書かれた文字を読んで内容を理解することができる。 (技) 給食のメニューについて書かれた文字を読むことができる。		
書くこと	(知) 給食メニューを表している文字の並びを理解することができる。 (技) 給食メニューを表す文字をなぞったり写したりして書くことができる。		

4 単元の指導計画 (全8時間+課外1 本時6/8時間目)

時	主な学習活動 (○)	指導上の留意点 (・)	評価の観点			評価規準 (◆)【観点】	回避
			知	思	主		
1	○本単元を通して全校のためにどのようなことができるか考え、友達と共有する。 ○T2Rサイクルを用いて活動や必要な表現など単元の見通しをもつ。	・教科書の内容を参考に、目的意識・相手意識を明確にして単元のゴールの活動や児童の姿を見通す。 ・T2Rサイクルを用いて活動の見通しをもつようにする。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行う。				C D
2 3	○レストランでの注文の場面において、欲しいものや値段を考えて注文したり受けたりする。	・必要な表現を練習したり確認したりする場を設定しながら、店員と客の両方の立場でやり取りできるようにする。	聞	聞	聞	◆友達の欲しいものを聞いて、商品と値段を見付けることができる。【知・技】 ◆友達の欲しいものを聞いて理解し、商品を渡している。【思・判・表】【主】	A B
4	○自分が集めた食事のメニューを友達に伝える。 ○友達の紹介に対して感想を伝える。	・食事メニューについて自分の考えや感想を伝えるための語彙や表現を必要に応じて確認したり練習したりする。	発			◆給食メニューの紹介のための語彙・表現を使って自分の考えたことを相手に伝えることができる。【知・技】	A C
5	○栄養士等の話を参考に栄養や値段を意識して全校のための給食メニューを作るという課題について、解決に向けて再度確認する。 ○班で、条件を満たす給食メニューについて考える。	・再度目的意識・相手意識を確認にしてゴールの活動や児童の姿を見通す。 ・T2Rサイクルを見直し、活動の見通しをもつようにする。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導は行う。				C D
6 本時	○買い物の場面で、班の給食メニューに必要な料理をやり取りして、給食メニューを作る。 ○これまでの活動や必要な表現について想起したり確認したりして、紹介の準備をする。	・班の友達と話し合いながら活動に取り組むことができるように確認したり振り返ったりできる場を設定する。 ・給食メニューの内容だけではなく、選んだ理由や思いも加えるように促す。	発	聞 発	聞 発	◆給食メニューと班の思いを併せて紹介するための語彙・表現を使って、自他の考えたことを理解して相手に伝えたり聞いたりすることができる。【知・技】 ◆考えた給食メニューについて内容を比べて工夫を意識しながら聞いて大まかな内容を理解したり、相手に分かりやすく伝えたりしている。【思・判・表】【主】	A C
7	○自分の考えた給食メニューを友達にPRする。 ○班で考えた給食メニューを紹介し、学級代表の給食を選ぶ。	・全校のための給食であることを条件に、友達に選んでもらえるような分かりやすい紹介にするための視点をもって聞くことができるようにする。					A B C D
課外	○クラスで選んだメニューを全校に紹介する。						D
8	○本単元の活動を振り返り、どのようなことができるようになったかを確認する。【単元テスト】	・単元を通して、どのような学びの過程で、どんなことができるようになったかを振り返るようにする。	読 書			◆紹介の活動を振り返って相手のことを考えて伝えたり書かれたりした文字を読んでいる。【知・技】	A D

※聞：「聞くこと」、発：「話すこと [発表]」、読：「読むこと」、書：「書くこと」

